



JASDAQ

平成 25 年 5 月 20 日

各 位

会 社 名 シンワアートオークション株式会社  
代表者名 代表取締役社長 倉田 陽一郎  
( J A S D A Q ・ コード 2 4 3 7 )  
問合せ先 経理部長 益戸 佳治  
電話番号 0 3 - 3 5 2 0 - 0 0 6 6 ( 代表 )  
( <http://www.shinwa-art.com/> )

### 内部統制基本方針の一部改定に関するお知らせ

当社は、平成 25 年 5 月 20 日開催の当社取締役会におきまして、内部統制基本方針について、下記のとおり一部改定することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

なお、改定箇所につきましては下線で示しております。

#### 記

取締役及び使用人の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制

当社は、「企業行動憲章」を制定し、代表取締役社長が継続的にその精神を役員及び従業員に伝えることにより、法令遵守及び社会倫理の遵守を企業活動の前提とすることを徹底する。

当社は、市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力排除に向けた体制を構築し、反社会的勢力とは一切の関係を遮断する。

当社は、財務計算に関する書類その他の情報の適正を確保するため、金融商品取引法等の法令に準拠し、財務報告に係る内部統制の体制の整備を推進する。

これらの徹底を図るため、総務人事部においてコンプライアンスの取り組みを社内横断的に統括することとし、同部を中心に全社的的教育等を行う。当社は、内部監査室を設置し、内部監査担当者は、総務人事部と連携の上、コンプライアンスの状況を監査する。これらの活動は、定期的に取り締り会及び監査役会に報告されるものとする。

また、法令上疑義のある行為について従業員が直接情報提供を行う手段として「内部通報制度」を設置運営する。

取締役の職務の執行にかかる情報の保存及び管理に関する体制

当社は、「文書取扱規程」に従い、取締役の職務の執行にかかる情報を文書または電磁的媒体（以下「文書等」という。）に記録し、保存する。

取締役及び監査役は「文書取扱規程」により、これらの文書等を常時閲覧できるものとする。

損失の危険の管理に関する規程その他の体制

当社のコンプライアンス、環境、災害、品質、情報セキュリティ及び商品管理等にかかるリスクについては、それぞれの担当部署にて、規則、ガイドラインの制定、研修の実施、マニュアルの作成配布等を行うものとし、全社横断的リスク状況の監視及び全社的対応は総務人事部が行うものとする。新たに生じたリスクについては、速やかに対応責任者となる取締役を定めこれにあたる。

取締役の職務の執行が効率的に行われていることを確保するための体制

当社は、取締役及び従業員が共有する全社的な目標を定め、この浸透を図るとともに、この目標達成に向けて各部門が実施すべき具体的な目標及び権限分配を含めた効率的な達成方法を定めるため、以下の経営管理システムを用いて、取締役の職務遂行の執行の効率化を図る。

I Tを活用したシステムにより、その結果を迅速にデータ化することで、取締役会、経営会議が定期的にその結果をレビューし、効率化を阻害する要因を排除・低減するなどの改善を促すことにより、目標達成の確度を高め、全社的な業務の効率化を実現する。

- ・職務権限・意思決定ルールの方策
- ・経営会議の設置
- ・取締役会による中期経営計画の方策
- ・中期経営計画に基づく各部門毎の業績目標と予算の設定
- ・I Tを活用した月次業績管理の実施
- ・取締役会及び経営会議による月次業績のレビューと改善策の実施

- 当社及び当社の子会社から成る企業集団における業務の適正を確保するための体制  
当社は、当社の子会社の業務の適正を確保するために、「関係会社管理規程」を制定し、同規程に従って、適切に管理する。  
当社は、子会社の自主性を尊重しつつ、会計業務、経営等に関する事項について適宜意見を提示するほか、子会社の重要事項は当社取締役会または経営会議において精査すること等により、子会社に対する統制を行い、その業務の適正を確保する。  
監査役は定期的に子会社の監査役等と意思疎通・情報交換を図り、必要に応じて子会社を調査する。
- 監査役がその職務を補助すべき使用人を置くことを求めた場合における当該使用人に関する体制及び当該使用人の取締役からの独立性に関する事項  
監査役は、必要に応じて内部監査担当者を補助者とし、監査業務に必要な事項を命令することができる。内部監査担当者は、監査役会との協議により監査役の要望した事項の臨時監査を実施し、その結果を監査役会に報告する。  
監査役より監査業務に必要な命令を受けた補助者は、その命令に関して監査役以外の者の指揮命令を受けない。なお、補助者の人事異動に関しては、監査役会の意見を尊重するものとする。
- 取締役及び使用人が監査役に報告をするための体制その他監査役への報告に関する体制及びその他監査役の監査が実効的に行われることを確保するための体制  
取締役及び使用人は、当社に重大な損害を与える事項が発生または発生する恐れがある場合、役員及び従業員による違法または不正を発見した場合、その他監査役会が報告すべきものと定めた事項が生じたときは、監査役に報告する。  
各監査役の要請に応じて下記の項目を主なものとする報告及び情報提供を行うこととするほか、常勤の監査役が取締役会のほか経営会議をはじめとする社内の重要会議等に参加し、自ら能動的に情報収集ができる体制を確保する。  
・ 当社の内部統制システム構築に関する各部署の状況  
・ 当社の重要な会計方針、会計基準及びその変更  
・ 業績及び業績見込の発表内容、重要開示書類の内容  
・ 内部通報制度の運用及び通報の内容  
・ 稟議書及び監査役から要求された会議議事録の回付の義務付け  
また、役員及び従業員の監査役監査に対する理解を深め、監査役監査の環境を整備するよう努める。代表取締役社長との定期的な意見交換会を開催し、適切な意思疎通及び効果的な監査業務の遂行により経営監視機能の強化及び向上を図る。

以上